


(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

事業名		急傾斜地崩壊対策等事業		路河川名等		中央		
事業毎の通番		9		市町村名		天龍村		
				箇所名(ふりがな)		中央(ちゅうおう)		
事業概要	事業目的	当該箇所は、勾配約38°、がけ高さ約40mの急斜面である。過去に急傾斜地崩壊対策工事を実施したが、待受対策工が主工種であり、法面対策工は不十分である。そのため降雨等の影響による法面の表面浸食により平成26年10月には大規模な崩落が生じた。近接する道路は、村内の幹線道路で通学路でもあること、また斜面下部にはコミュニティ施設や保育園などもあるため、十分な斜面対策を行い民生の安定を図るものである。						
	しあわせ信州創造プランにおける位置付け	4-1 地域防災力の向上		事業実施の根拠法令等		急傾斜地法		
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象: 人家22戸 公共施設: 村道						
	着手年度	平成27年度	事業期間	6年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	平成32年度	費用対効果	4.5	国庫	95,000	10,000	85,500
	全体事業内容(主な工種)	法面工 L=250m			200,000	95,000	10,000	85,500
	年度事業内容(主な工種)	地質調査 1式 地形測量 1式 詳細設計 1式			10,000	4,750	500	4,275
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家及び公共施設の保全					
		間接的効果(定量的・定性的)						
評価の視点	必要性	○人家戸数 : 22戸 ○公共施設数 : 1箇所(村道) ○災害時要援護者施設の有無 : 無 ○避難場所、避難路の有無 : 無					評価	B
	重要性	○過去の災害履歴 : 有(H26.10) ○交通遮断による地域経済への影響 : 中 ○地域防災計画上の位置づけ : 有					評価	A
	効率性	○費用便益比(B/C) : 4.56 ○事業期間 : 6年 ○工法等の比較検討 : 有					評価	A
	緊急性	○斜面の高さ : 40m ○斜面平均勾配 : 38° ○地質 : 強風化岩 ○オーバハング、遷急線、谷地形、凸地形 : なし ○植生 : 普通 ○保全対象の位置 : がけ下、がけ上両方					評価	B
	計画熟度	○事業情報の共有 : 関係者以外にも周知 ○地域の取り組み : 協力的である ○地域の合意形成 : 合意形成が図られている。 ○住民との協働 : 独自の取り組みを検討中					評価	A
	部意見	保全対象に人家22戸、村道がある。斜面は風化による浸食が進んでおり、H26.10には、斜面崩落が生じたため早期に対策を行う必要がある。		行政改革課意見		H26.10に大規模な崩落が生じたことから、重要性が認められる。		評価結果
							○	B

事業概要説明図表	【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意)		
			
事業周辺環境	【整備の必要性がわかる状況写真等】		
			
			
	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該地区は、がけ上に4戸、がけ下に18戸の人家と村道といった保全対象がある。平成14年度に待受対策を主とした対策工事を実施したが、法面対策が不十分である。このような状況の中、平成26年10月に土砂崩落が発生し、近接する幹線村道が通学路となっていることや、保育園、コミュニティ施設も近いため、地元から対策の要望が高まっている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	平成26年10月28日の土砂崩落を受け、11月の土砂災害防止法指定に係る地元説明会において、地元住民から対策の要望を受けている。	
	③事業説明等の経緯	平成26年10月30日に、28日の土砂崩落を受け、近隣住民を中心に復旧の方向性や対策工事の必要性について説明会開催。住民20名出席。 平成26年11月20日に土砂災害防止法指定に係る地元説明会を開催。住民40名出席	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	詳細設計時に配慮について検討の予定。		
⑥地域活性化への影響と配慮	急傾斜地崩壊対策施設の整備により安全な宅地を確保し、地域への定住を促す		
⑦その他			
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 27' 86" 東経:E 137° 85' 70"	